

令和5年度 第1回 仙台市中央卸売市場

水産物部・青果部・花き部・食肉部取引委員会 議事録

開催日時	令和6年1月26日（金）9時00分～10時00分
開催場所	仙台市中央卸売市場管理棟3階会議室
出席委員	別添名簿のとおり [20名]
欠席委員	〃 [4名]
事務局	中央卸売市場長、管理課長、業務課長、食肉市場長、 業務課主幹兼花き場長、業務課水産青果係長

会議録

1 開会

2 開設者挨拶

中央卸売市場長より挨拶

<出席者紹介>

各委員及び事務局の出席者が自席にて挨拶

3 各部委員長及び副委員長選出

委員の互選により、水産物部の委員長に西川正純委員、副委員長に八巻英樹委員が選出（推薦者は岩沼委員）、青果部の委員長に西川正純委員、副委員長に門田巧委員が選出（推薦者は佐々木(章)委員）、花き部の委員長に稲葉雅子委員、副委員長に中嶋強委員が選出（推薦者は大町委員）、食肉部の委員長に川村保委員、副委員長に佐々木仁委員が選出（推薦者は狩野委員）。

<委員長挨拶>

○西川委員長（水産物部、青果部）

宮城大学の西川と申します。よろしくお願いたします。今回、仙台市中央卸売市場の水産物部と青果部の取引委員会の委員長に選任されました。後ほど出てきますが、現在、仙台市中央卸売市場の再整備について計画を進めているところですので、皆様方と意見を交わしながらより良い市場にしていかなければと思っております。本日はよろしくお願いたします。

○稲葉委員長（花き部）

おはようございます。稲葉でございます。普段、お客様と触れ合う中で、コロナ禍という試練がありましたので、皆さんもご苦労されていると思います。やっとここにきてコロナの前の状態に戻ってきていると思います。市場はご商売の場でもありますけれども、一般のお客様も巻き込んでいけるよう

な仕掛けを考えながら、皆さんと共に進んでいけたらいいかなと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

○川村委員長（食肉部）

宮城大学の川村でございます。食肉の関係だけではないのですが、卸売市場の役割が非常に大事になってきたのかなと感じております。失われた20年、30年と言われた時が終わりまして、経済が動き始め、新しいフェーズに入ったと思われれます。一方では物価高で消費者側の問題があり、食肉関係だとエサの価格で生産者側の問題もある。その結節点である卸売市場の役割はますます重要になってくると感じています。微力ながらお役に立てるようなことをしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

取引委員会の規定により委員長が議長となるが、4部門合同での開催となることから水産物部、青果部の委員長である西川委員長を議長にお願いすることを事務局から提案し、委員全員の承諾を得る。

<議事録署名人の選出>

西川委員長により議事録署名人に渡辺裕治委員、門田巧委員、大町正男委員、狩野真由子委員を指名。

4 議 事

(1) 仙台市中央卸売市場の取扱状況について・・・資料1

事務局（渡辺業務課長）より資料1に基づき、水産物部、青果部、花き部、食肉部の年次取扱高の推移及び4部門の合計取扱金額の推移を説明。

稲葉委員長

水産関係ですが、まだデータとしてはないのかもしれませんが、ALPS 処理水の関係での売上高や漁獲高に対する影響というのは、どれくらいあるのでしょうか。わかる範囲で構いませんので教えていただけますか。

事務局（渡辺業務課長）

ただ今のご質問、ALPS 処理水の影響ということでございますが、今現在、私共で具体的な数値は持っていないところですが、市場の各団体、主に卸会社に確認したところ、大きな影響は出ていないとのことでございます。

もちろん輸出に関して、仙台市場ということではなくて、全国的な傾向としてそういった状況はございますが、当仙台市場において、取引の数値で確認できる範囲でみると、直接、買い控えとかそういったことの影響があるかと申しますと、目に見えた反応はないということでございます。

むしろ、逆に福島を応援していこうということで、市場だけの話ではないの

ですが、そういう動きがみられ、ふるさと納税の関係であったりですとか、いろいろな支援の動きがあると伺っております。

西川委員長

2024年度問題で、輸送関係で様々なことが始まっていると思うのですが、その影響はありますか。

事務局（渡辺業務課長）

いわゆる輸送に関する2024年問題の件での影響は、どのようなところかというご質問でございますが、私共といたしましても大変重要な問題と考えておりまして、国からも、いろいろと、情報提供ですとか、現在の制度の検討状況とか情報提供を受けているところでございます。

まず、私共で聞き取りをさせていただいたのが、卸会社でございまして、各部門の卸会社のお話を承りますと、全く影響はないというわけではないですが、年明け前の段階では、具体的に、産地、特に農産物系の産地では、今すぐ仙台で直接影響が出るというお話は聞いてない、と伺っております。

皆様もご存じのように、当然、労働時間が短くなるということになりますので、一回の運送でドライバーの方が走れる時間が、例えば11時間までですとか、そういったような制限が出てきますので、今までであれば、西日本の方から、東北の北の方まで運べたものが、一回仙台で止まってしまうですとか、そういったことは十分考えられると伺っております。

しかしながら、仙台に荷物が届かないのかということ、そこまで大きな話は今のところ出てないということであり、ただ、予断を許す状況ではないとも認識しておりますので、引き続き、今後2024年度を控えておりますので、卸会社と情報の共有を綿密にいたしまして、現在の市場の状態に対応できる方策はないかということ、協議会等で検討し、情報を共有する対応をしていきたいと考えております。

西川委員長

この場に卸売業者の仙都魚類さんがいらっしゃいますが、八巻委員、いかがですか。ご意見や取り組み等をご紹介いただければと思います。

八巻委員

今のところ、物流面で、今日届くはずだった荷物が翌日になってしまう等の問題は生じておりません。今後、運賃の上昇等の動きは出てくるのかなと思っております。

西川委員長

よろしければ、青果部で門田委員お願いします。

門田委員

青果部も水産物部と同じように大きな影響は今のところ出ていません。北東北の卸売会社からの情報ですと、関東方面にストックポイントとなる物流倉庫を既に借りている会社もあるようです。仙台の場合は、距離的に仙台までは配送できますという情報しか私どもでは把握しておりません。

西川委員長

次に、花き部で中嶋委員、何かありませんか。

中嶋委員

花き部では、国の補助事業で、ストックポイントを活用した物流の実証検討事業を昨年行っております。

取組のポイントとしては、ストックポイントの活用、統一規格台車の使用、ソースマーキング（RFID タグ）による商品管理、検品のデジタル化をし、どれぐらい効率化を図れるものかを実証実験したものです。

一回目は東北から東京経由で名古屋まで、また名古屋から東京の共同荷受け所、そして関東までの物流実験を実施しました。

結果として、時間の削減率が60%ぐらいでありました。

今後も、各生産者や卸売会社が時間短縮の取り組みを実施すると思いますが、大体出荷段階で一時間以内、それから荷受けも一時間以内の作業時間を目安とし、輸送時間をできるだけ長くとれるようにして実証を行っていく予定です。

二回目は今月末に実施し、今度は北や南から来る荷物をトラック輸送ではなく、フェリー輸送も検討しながら進めていく予定です。

西川委員長

それでは食肉部門の仙台中央食肉卸売市場の佐々木委員をお願いします。

佐々木（仁）委員

まず集荷状況ですが、肉牛につきましては当市場は県内が9割弱、肉豚につきましても県内が6割弱ということで、次のシェアが岩手県になっておりますので、集荷の部分については大きな問題は今のところ発生していません。購買後の肉牛の行き先につきましては、県外は関東が中心になっております。今のところ、2024年問題が大きくクローズアップされているという状況にはないのが現状でございます。

西川委員長

それでは各市場の取引、取扱状況の説明についてご質問がありますか？

《委員からの質問等無し》

西川委員長

それでは質問がないようですので、まず一番目の取り扱い状況についてはこれで終了したいと思います。

(2) 仙台市中央卸売市場業の施設再整備事業について・・・資料2

事務局（山田管理課長）より資料2に基づき、施設の概要、取引状況、主な取り組み、課題、再整備に向けた検討、再整備の基本コンセプト、再整備後の施設規模、施設配置、手順とスケジュールについて説明。

西川委員長

ありがとうございました。簡略にですけれども、ほぼ内容的には網羅されていると思います。少し分かりにくい部分もあるかと思いますが、皆さんからは非ご意見をいただければと思います。

稲葉委員長

検討はまだまだ先かもしれないですが、人口減少という点で消費する量の問題があると思うのですが、労働人口の減少という観点で、設備や機器での工夫について、現時点で何か考えていることはあるのでしょうか。

事務局（山田管理課長）

働き手側の環境ということで、当然、検討内容ではあり、現在卸売場がよく言えばすごく風通しがいい、外の屋根がないことなど色々な問題があります。是非屋根を付けて欲しいという要望や、密閉型にして温度管理されたところで働けるようにする、販売する商品についても、当然コールドチェーン、冷蔵機能があった方がいいわけですので、そういったところで商品にも優しい、働く方々にも働きやすい環境ということは考えております。

稲葉委員長

何か IT の手法を取り入れて効率化等を考えているのでしょうか。

事務局（山田管理課長）

検討委員会の中では、当然 DX といった意見も出ております。まだまだ検討は先ではございますが、引き続き検討してまいるところでございます。

西川委員長

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。
門田委員よろしく申し上げます。

門田委員

今のご質問と関連しますけれども、将来予測がトレンドで出しているわけで

すが、トレンドだけではなくて、もうひとつ競争関係といますか、場内の流通との競争関係ということが一つの大きな要素として入ってくると思いますが、そのあたりのご検討が何かありましたらお話しを伺いたいと思います。

事務局（山田管理課長）

取扱量の推計についてですが、仙台市場の取扱量は先ほどの説明でもあったとおり減少しているのですが、我々としてはどう食い止めるか、何故減少しているのかを分析したところ、当然老朽化というのが一つの大きな要因で、あとはコールドチェーン化をしていない、温度管理が出来ていないことで生産者、出荷者から選ばれにくい市場になってきているということです。そこでコールドチェーン化し、皆さんから選んでいただけるような市場にしていくのが目標です。あと、先ほどトラックドライバーの話もありましたが、北東北と関東をつなぐためのストックポイントとしての役割を担って、仙台市場が中継点となって他市場へ品物を送るような機能も備え、取扱量を増やしていきたいと考えています。

西川委員長

ありがとうございました。

高橋委員どうぞ。

高橋委員

施設配置の件ですが、今後の主な検討事項の、青果部配送センターの移転の検討はいつ頃の予定でしょうか。移転費用も相当掛かると思いますが。

事務局（山田管理課長）

青果の配送センターについては、既に供用開始後20年は経過しています。再整備事業を進めていく途中に耐用年数に達するということもありますので、既に我々の案としては移転、新築ということで進んでいます。具体的な検討については令和6年度からの基本計画の中で検討を進めてまいるところです。

高橋委員

承知いたしました。順次計画が進みますように祈念しています。

西川委員長

その他いかがでしょう。ご質問あればと思いますが。

もしよろしければ、佐々木（郁）委員いかがでしょうか。

佐々木（郁）委員

計画の調整ができるかどうかわかりませんが、最終的なゴールが2037年という、かなり長期的な計画であり、取扱量等の推計はされていますが、整備

中の14年間に、市場の動向等が色々変わってしまい、ローリングで進めていくとはいうものの、長期的な整備というところで大きな変更が生じる可能性があると思いますが、その点に関してはどういう対応をされるのか伺いたいです。

事務局（山田管理課長）

11ページに、今後の取扱数量の推計があり、12ページには目標数値を掲載していますが、何もしなければR22年には「6.1万トン」、「4.3万トン」まで減ってしまいます。それを再整備することによって、他市場、生産者、出荷者に選ばれるような市場に、後はストックポイントなど新たな需要を見越して、「6.8万トン」、「12.1万トン」まで伸ばして、それを安定的に続けていきたいと考えております。

長期的な計画になりますから、当然途中で見直しというのものもあるかもしれませんが、逆にこれ以上増えていることも考えられますので、そういった意味で場内の余剰地について、新しい需要があれば新しい設備も作っていくことも必要かなと思っております。

佐々木（郁）委員

次に、今ニーズがない、一番選ばれていない理由として、先ほどお話にあったとおり、コールドチェーン等が重要になるのであれば、整備計画は水産部門（コールドチェーンが必要である）の方が先になるということでしょうか？

事務局（山田管理課長）

現地建替をしますが、現在は水産棟と青果棟が大きく東西に二つ配置され、卸売場がだいぶ広いので、売り場を一部壊しながら、仮設店舗を作りながら、できれば（水産、青果）両方同時に進めていきたいと考えております。

なかなか長期になりますので、どこから、まず何を最初に、というのは来年度からの基本計画の中で決めていくことになると考えています。

西川委員長

その他皆さん、ご意見はありますか。

この整備計画ですが、実際に使用している卸売の方々の利便性を担保しながら、しかも仙台市民の方、県民の方を含め、不利益が生じない形で、スムーズな再整備ということが求められますので、引き続き業界の団体や市民、県民の皆様と相談しながら進めていただきたいと思います。

川村委員長

情報発信の機能をひとつ強化していただければな、という気がしております。なぜか、卸売市場は消費者から注目されない、年末くらいしか日の目を見ないのですが、すごく大事な役割を果たしていることを理解していただいて、その上で流通を強化していくのが、本来のやり方ではないかと思っています。是非

よろしくお願ひします。

西川委員長

情報発信の在り方についてはどうですか。

事務局（山田管理課長）

新年度からの検討の中では、情報発信、食育というところでお子さんだけではなく、大人の方にも食材を勉強していただく、中央卸売市場はこういう役割を担っていると勉強、学習していただくような施設も当然必要だという意見もありますので、様々検討してまいりたいと思います。

西川委員長

その都度、ホームページ等で公開されるとは思いますが、是非とも積極的にお願ひしたいと思ひます。

皆様方いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは意見も出尽くしたようですので、本日の委員会での意見は議事録に記録されます。議事録をもって開設者、各委員への報告としますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、以上で議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

(3) その他

特になし

事務局

予定していた議事等はすべて終了となります。以上を持ちまして令和5年度第1回仙台市中央卸売市場水産物部・青果部・花き部・食肉部取引委員会を終了いたします。

5 閉 会